

映画「痛くない死に方」のこと

町立金山診療所
疼痛外来 嘱託医 東郷ひろみ

痛みには、身体のケガや病気による身体的な痛み、精神的にダメージを受けて感じる心の痛み、仕事や社会経済的苦痛、自分の存在を自問しておきるスピリチュアルペインなど、いろいろ。でも人生の最後に「痛くない」と言いながら旅立つなんて、絶対に避けたいですね。

「わたしと金山」

林 寛治^{かんじ}
No.5
金山から新潟県柏崎へ
発つまで

私たち、母壽子、私、弟隆三の3人は1944年～1946年夏までの終戦を挟んでの満2年間、母の実家一十で世話になりました。唯一驚いたのは、終戦後直ぐに食糧事情が悪くなったことで、子ども心にもわかり得るほどの急な変化でした。家族の頭数に合わせた缶詰めの配給に大喜びした記憶が残るのは、そのためです。

石油精製会社勤めの父が徴用されなかったのは石油依存の国策によるものだったと思います。東京周辺の油槽所・精油施設も住まいも、すべて爆撃で焼失し、焼け野原の東京でどう生きたかを父からは聞き漏らしました。被災都市住民全てが被災者であり、戦地に赴いた兵隊さんたちの運命を思えば、生き延びただけで、こどもたちには語りたくないという心情だったのかも知れません。戦後の都市生活の熱源は廃材、たどん、

映画でした。

前半は痛い苦しい思いをして亡くなった肺癌の患者さんの話、後半は痛みもほほなく逝った患者さん（演じたのは宇崎竜童）の話。新米の在宅医（柄本佑）が患者さんに寄り添って成長していき、終末期のありかたも問う物語です。他に奥田英一、余貴美子、大谷直子などの俳優さんも多数出演しています。宇崎竜童さん扮する患者さん作の哀しくて可笑しい川柳（26句）も、なるほどとうなずけます。

「延命の 家族愛とは エゴイズム」：誰のための延命なの？

「強がるも 払いきれない 死の恐怖」：みんなが感じる恐怖

「いうことを きかぬかかあと 下半身」：体が動かない辛さ

「性格も 治してくれよ 抗がん剤」：抗がん剤治療を受ける人も増えました

「尊厳を 遠くの親戚 じゃまをする」：いつもそばにいない人ほど話を面倒にするかも



機会があればぜひご覧になってください。

昔は自宅での死亡も多かったのですが、いつの間にか死ぬのは病院となり、今また在宅療養、看取りも見直されてきています。

現在、都市圏では、コロナ感染者の在宅療養という名の「ほったらかし」とでもいっていい医療崩壊がおきていると聞きます。そんな状況もあるとはいえ、家族が背負わなくともいい在宅医療、終末期医療などを考える良いきっかけになる映画だと思います。

自分の意思をしっかり伝えられる状態のうちから、いずれみんなに公平にやってくる「その時」をどう迎えたいか、考えてみませんか。

練炭、炭、などでしたから、ほんの一部を除けば、石油の出番は、進駐軍とその家族向けだったと思います。

1946年春に新潟県柏崎製油所に転勤となった父の元に、私たち3人が向かうことになり、母が大石田に疎開されていた斎藤茂吉先生にご挨拶に行くのに4年生の私を連れて行ってくれました。その時の様子を町史編集委員でいられた栗田弥太郎氏が広報かねやまNo.350号で「茂吉・家子夫と林（岸）壽子（二）」に板垣家子夫日記からとして、紹介してくれました。この日のことは、後に私の内なる自慢めいた喜びとなりました。私から話すのは今回が初めてです。

7月末に茂吉先生を訪ねた時、汗びっしょりの私を見て冷たいタオルで顔を拭いてくれたのです。次いで「壽子さんの汗もふいてあげよう」と言われた母が慌てて辞退したという様子が板垣日記に記されているそうですが、思いだすと可笑しくなります。

栗田氏は、この時訪ねたこどもを弟と勘違いされましたが、私たちの知らせで広報No.352号で丁寧に訂正してくれました。私の内

7月20日に、「町と祭 山形・金山 井浦新 写真紀行」が求龍堂から出版されました。今、大活躍中の俳優 井浦新氏が金山の人・街並み・自然を自らの眼で捉えた美しく元氣な写真紀行です。賑やかさと静寂、生活感、季節感、人びとの表情と立ち居振る舞いが、金山祭とまちなみに融合しているさまを、見事にとらえています。マルコの蔵で取りあつかっていますので、是非ご覧ください。



子育て支援センター「おひさま」に遊びに来てね！

子育て支援センターおひさまでは、入園前までのお子さん、保護者が集まりいろいろな遊びや保護者同士の交流の場、子育て相談・情報提供を行っています。また、おひさまを会場に「子育てがっこう」の講座（ベビーマッサージや読み聞かせ）など、お子さんとパパママやおじいちゃんおばあちゃんにとってためになるメニューを開催しています。お気軽に遊びに来てください。

- 場所 金山町子育て支援センター
- 時間 毎週月曜日～金曜日（午前9時～11時45分、午後1時15分～3時30分）
- 利用料 無料

☎ 子育て支援センターおひさま 52-2272
☎ 役場健康福祉課 子育て支援室 52-2111



8・27
笹原

琉雅くん（安沢）

元気に逞しく成長してくれてありがとう！これからも可愛い姿を沢山見せてね！



8・27
上野

和花ちゃん（七日町）

毎日たくさんの笑顔と幸せをありがとう。大好きだよ。



7・21
阿部

魁聖くん（稲沢）

☆祝、1歳☆生まれてきてくれて、ありがとう。お兄ちゃんと仲良く元気に育ってね。



はじめての BirthDay !

晴れて1歳の誕生日を迎えられる子どもたちを紹介します！